

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3767885号
(P3767885)

(45) 発行日 平成18年4月19日(2006. 4. 19)

(24) 登録日 平成18年2月10日(2006. 2. 10)

(51) Int. Cl.	F I
A 4 5 D 34/00 (2006. 01)	A 4 5 D 34/00 5 1 O A
A 4 5 D 34/02 (2006. 01)	A 4 5 D 34/02 5 1 O Z

請求項の数 19 (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2000-253266 (P2000-253266)	(73) 特許権者	595102503
(22) 出願日	平成12年8月24日(2000. 8. 24)		グラハム パッケージング プラスティッ
(65) 公開番号	特開2001-78828 (P2001-78828A)		ク プロダクツ インコーポレイテッド
(43) 公開日	平成13年3月27日(2001. 3. 27)		アメリカ合衆国 オハイオ州 4 3 6 6 6
審査請求日	平成14年8月30日(2002. 8. 30)		トレドワン シーゲート (番地なし)
(31) 優先権主張番号	09/383165	(74) 代理人	100059959
(32) 優先日	平成11年8月24日(1999. 8. 24)		弁理士 中村 稔
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100067013
			弁理士 大塚 文昭
		(74) 代理人	100082005
			弁理士 熊倉 禎男
		(74) 代理人	100065189
			弁理士 穴戸 嘉一
		(74) 代理人	100096194
			弁理士 竹内 英人

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 流動製品の小出しパッケージおよびその製造方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流動製品の小出しパッケージであって、軸線方向に延びる円筒状ネック（1 8、1 8 a 又は 1 8 b）を備えたプラスチック容器（1 2、1 2 a または 1 2 b）と、小出し開口（3 0、3 0 a 又は 3 0 b）と、前記ネック内に受け入れられる円筒状壁（2 6、2 6 a 又は 2 6 b）とを備えたプラスチック取付部（2 0、4 8 又は 6 4）と、前記小出し開口を選択的に開閉するための、前記取付部 又は ネックに 回動自在に取り付けられる頂部（2 2、5 0 または 6 6）とを有し、前記ネック 及び 壁の一方が半径方向に開口した周方向チャンネル（4 0、4 0 a 又は 4 0 b）を有し、前記ネック 及び 壁の他方が、前記取付部を前記ネックに固定するため前記チャンネル内に受け入れられる 半径方向に突出した周方向ビード（3 8、3 8 a 又は 3 8 b）を有し、前記取付部が直径方向に対向する凹状支持肩部（8 0）を有し、前記頂部は、該頂部の回動運動の際、前記頂部を支持するように前記肩部（8 0）と係合される一対の凸状支持面（8 2）を有する、流動製品の小出しパッケージ。

【請求項 2】

前記ビード（3 8、3 8 a 又は 3 8 b）が前記取付部（2 0、4 8 又は 6 4）に配置され、

前記チャンネル（４０、４０ a 又は ４０ b）が前記ネック（１８、１８ a 又は １８ b）に配置されている、請求項 1 記載の小出しパッケージ。

【請求項 3】

前記ビード及びチャンネルの各々が、半径方向に対面する、ベース壁、截頭円錐状の側壁を有する、請求項 2 記載の小出しパッケージ。

【請求項 4】

前記ネック（１８、１８ a 又は １８ b）は、前記周方向チャンネルから延びている少なくとも 1 つの軸線方向チャンネル（６８または ７０）を有し、

前記取付部（２０、４８または ６４）は、前記ビードから前記軸線方向チャンネル内に延び、前記ネックに対して取付部を周方向に整合させる少なくとも 1 つの軸線方向ラグ（７２又は ７４）を有する、請求項 2 記載の小出しパッケージ。

10

【請求項 5】

前記ネックは直径方向に対向する軸線方向チャンネル（６８、７０）を有し、前記取付部は、前記チャンネル内に配置される、直径方向に対向する軸線方向ラグ（７２、７４）を有する、請求項 4 記載の小出しパッケージ。

【請求項 6】

前記頂部は、該頂部が前記取付部に対して閉じられたときに、前記小出し開口（３０、３０ a 又は ３０ b）内の栓シールを形成する壁（３６、３６ a 又は ３６ b）を有する、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項記載の小出しパッケージ。

【請求項 7】

20

前記頂部（２２）は前記取付部（２０）と一体に形成され、枢着ヒンジ（２４）を介して取付部（２０）に連結されている、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項記載の小出しパッケージ。

【請求項 8】

前記頂部は、前記取付部及び前記ネックとは別体のディスク（５０又は ６６）を備え、該ディスクは 1 対の部分球状突出部（５４又は ７８）を備え、
前記取付部及び前記ネックの一方は、前記部分球状突出部が受け入れられる 1 対の部分球状ポケット（５６又は ７６）を備える、
請求項 1 記載の小出しパッケージ。

【請求項 9】

30

前記部分球状ポケット（５６）が、前記取付部に配置されている、請求項 8 記載の小出しパッケージ。

【請求項 10】

前記部分球状ポケット（７６）が、前記ネックに配置されている、請求項 8 記載の小出しパッケージ。

【請求項 11】

前記ネックは一平面内に配置される軸線方向縁部を有し、前記取付部は前記縁部上に載置される半径方向柵部を有している、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項記載の小出しパッケージ。

【請求項 12】

40

前記ネックは軸線方向縁部を有し、
前記取付部は前記縁部より下で前記ネック内に受け入れられる、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項記載の小出しパッケージ。

【請求項 13】

流動製品の小出しパッケージを製造する方法であって、

（a）軸線方向に延びる円筒状ネックを有するプラスチック容器（１２、１２ a 又は １２ b）を、縁部と、該縁部から間隔を隔てた前記ネックの内面の周方向チャンネル（４０、４０ a または ４０ b）と一体成形し、

（b）小出し開口（３０、３０ a 又は ３０ b）と、半径方向外方に延びるビード（３８、３８ a 又は ３８ b）を備えた円筒状壁（２６、２６ a 又は ２６ b）と、直径方向に対向

50

する凹状支持肩部（８０）とを有するプラスチック取付部（２０、４８または６４）を用意し、

（ｃ）前記ビードが前記チャンネルに嵌合するまで、前記取付部を前記ネックに挿入することによって前記取付部を前記ネックに固定し、

（ｄ）前記小出し開口を選択的に開閉するための頂部（２２、５０又は６６）を前記ネック又は前記取付部に回動自在に取り付けることを含み、前記頂部は、該頂部の回動運動の際、前記頂部を支持するように前記肩部と係合される一対の凸状支持面（８２）を有する、

流動製品の小出しパッケージを製造する方法。

【請求項１４】

前記工程（ｂ）は、前記工程（ｃ）中、前記ビード（３８、３８ａまたは３８ｂ）に截頭円錐状表面を設け、前記取付部を前記ネック内にカムセンタ決めすることを含む、請求項１３記載の方法。

【請求項１５】

前記工程（ａ）は、前記周方向チャンネルから延びる少なくとも１つの軸線方向チャンネル（６８又は７０）を前記ネックに設けることを含み、前記工程（ｂ）は、前記工程（ｃ）中、前記チャンネルに対して前記取付部を周方向に整合させるように前記軸線方向チャンネル内に受け入れられる少なくとも１つのラグ（７２または７４）を前記取付部に設けることを含み、請求項１４記載の方法。

【請求項１６】

前記工程（ｂ）および（ｄ）は、前記頂部と取付部とを一体成形することにより同時に行なわれる、請求項１３記載の方法。

【請求項１７】

前記工程（ｄ）は、前記頂部に部分球状突出部（５４又は７８）を設け、前記ネック及び前記取付部の一方に部分球状ポケット（５６又は７６）を設け、前記突出部を前記ポケット内に嵌合させることにより行なわれる、請求項１３記載の方法。

【請求項１８】

前記頂部には、前記小出し開口と栓シール係合する環状壁（３０、３０ａまたは３０ｂ）が設けられている、請求項１３記載の方法。

【請求項１９】

前記頂部は、前記取付部及び前記ネックとは別体のディスク（５０又は６６）を備え、該ディスクは１対の部分球状突出部（５４又は７８）を備え、前記取付部及び前記ネックの一方は、前記部分球状突出部が受け入れられる１対の部分球状ポケット（５６又は７６）を備える、請求項１３記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、化粧品およびボディローション等の流動製品の小出しパッケージ（dispenser packages）に関し、より詳しくは、小出し用の閉鎖体即ち蓋が、輪郭および構造の点でパッケージ容器とぴったり合致して一体化される小出しパッケージおよびその製造方法に関する。

【０００２】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の概略的な目的は、構成部品の数および複雑さを低減させおよび／または組立てを容易にすることにより、製造コストおよび在庫管理コストを低減できる化粧品およびボディローション等の流動製品の小出しパッケージおよびその製造方法を提供することにある。本発明の他の関連目的は、蓋が構造的にぴったり合致するように連続しておりかつパッケージ容器の設計を用いた輪郭を有する点で優れた視覚的インパクトが得られる小出しパッケージおよびその製造方法を提供することにある。

【０００３】

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】

本発明の一態様による流動製品の小出しパッケージは、軸線方向に延びている円筒状ネックを備えたプラスチック容器と、ネックの開口端に固定される蓋とを有している。蓋は、小出し開口および容器のネック内に受け入れられる円筒状壁を備えたプラスチック取付部を備えている。容器のネックまたは取付部の壁のいずれか一方が、半径方向に開口した周方向チャンネルを有し、他方が、前記チャンネル内にスナップ嵌合により受け入れられて取付部を容器のネックに固定するための半径方向に突出した周方向ビードを有している。頂部は、小出し開口を選択的に開閉できるように、取付部またはネックに対して移動可能に取り付けられる。本発明の好ましい実施形態では、小出し開口は円形であり、頂部は、該頂部が閉位置にあるときに、小出し開口内の栓シールを形成する環状壁を有している。本発明の好ましい実施形態における頂部は、取付部または容器のネックに枢着され、かつ閉位置において取付部またはネックの軸線方向端部と同一平面内に位置して視覚的にコンパクトな構造を形成する。

10

【0004】

本発明の好ましい実施形態では、蓋の取付部にはビードが設けられ、該ビードは、容器のネックに取付部を組み付けるときに、ネック内で取付部をカムセンタリング作用させる截頭円錐状の側壁を有している。ネックには、また、周方向チャンネルからネックの開端部まで延びる少なくとも1つの軸線方向チャンネル、好ましくは直径方向に対向する軸線方向チャンネルを設けることができる。本発明のこの態様による取付部は、該取付部が容器のネック内に挿入されるときに軸線方向チャンネル（単一または複数）内に受け入れられて、ネックに対して取付部を周方向に整合させるための少なくとも1つのラグ、好ましくは直径方向対向ラグを有している。頂部は取付部と一体に成形して一体ヒンジを介して取付部に固定するか、取付部とは別体に形成して、容器のネックまたは取付部の球状ポケット内に受け入れられる球状ラグを頂部に設けることもできる。本発明の別の実施形態では、取付部に、ネックの平らな縁部上に載置される半径方向棚部を設けるか、取付部が容器のネック内に入れ子式に完全に挿入され、頂部の閉位置において頂部が容器のネックの軸線方向縁部と同一面内に位置するように構成することもできる。

20

【0005】

本発明およびその他の目的、特徴および長所は、以下の説明、特許請求の範囲の記載および添付図面から最も良く理解されよう。

30

【0006】**【発明の実施の形態】**

図1～図4には、本発明の好ましい実施形態による小出しパッケージ10が示されており、該小出しパッケージ10は、閉鎖体すなわち蓋14が取り付けられる一体成形された容器12を有している。容器12は本体16を有し、該本体16から円筒状ネック18が突出している。本体16およびネック18は、適当なプラスチック樹脂配合物から、ブロー成形または他の適当な作業により一体成形される。少なくとも本体16は、これを圧迫して製品を小出しできるように、可撓性構造にするのが好ましい。本発明の図示の実施形態では、容器本体16は全体として円筒状の輪郭を有し、かつネック18が、本体16から、これと同心状に一体的に突出している。

40

【0007】

本発明のこの実施形態の蓋14は、取付部（fitment）20と、一体成形ヒンジ24を介して取付部20に枢着された円形頂部22とを有している。取付部20は、容器のネック18内に入れ子式に受け入れられる円筒状壁26を有している。取付部20の平坦壁28は、軸線方向に延びる壁32により形成された円形の小出し開口30と、ネック18の平らな上縁部の上に載置される、半径方向外方に突出する棚部34とを有している。頂部22は、ヒンジ24に固定された平坦壁34と、該平坦壁34から突出する環状壁36とを有し、該環状壁34は、蓋14の閉位置（図1および図2）において小出し開口30内に受け入れられて、該開口30内で栓シールを形成する。

【0008】

50

取付部の壁 26 は、半径方向外方に突出する周方向ビード 38 を有し、該ビード 38 は、容器のネック 18 の内面に形成され補完的な輪郭を有し、周方向に延び、かつ、半径方向内方に開口したチャンネル 40 内にスナップ嵌合により受け入れられる。ビード 38 およびチャンネル 40 の両者は、半径方向に向かい合う円筒状壁面と対向する截頭円錐状側面とによって形成されている。(図 2 の方向で見て) 半径方向外方に向って上方に傾斜しているビード 38 の下方の截頭円錐状面は、取付部 20 がネック 18 内に組み付けられるときにネック 18 の縁部を半径方向外方に拡げるカム作用をして、ネックに対して取付部を心出ししかつネックへの取付部の組付けを容易にする。ヒンジ 24 は、慣用構造のスナップ形ヒンジで形成するのが好ましい。頂部 22 の平坦壁 34 から壁 42 が延びており、該壁 42 は、取付部壁 28 と対向して当接して、図 1 および図 2 に示す閉位置においてコンパクトな高さの低い閉鎖構造を形成する。

10

【0009】

図 5～図 7 には、本発明の他の実施形態による小出しパッケージ 44 が示されている(種々の図面における同一要素または関連要素は、添字を付した同一の参照番号で示されている)。図 5～図 7 の実施形態における蓋 46 は、取付部 48 と、該取付部 48 とは別体に形成されたスぺード形頂部 50 とを有している。図 1～図 4 に示した実施形態と同様に、取付部 48 は、半径方向外方に突出する周方向ビード 38a を備えた円筒状壁 26a を有している。容器 12a は、対応する半径方向内方に開口した周方向チャンネル 40a を備えた円筒状ネック 18a を有している。取付部 48 のベース壁 28a は、一部が環状壁 32a により形成された小出し開口 30a と、ネック 18a の平らな軸線方向縁部上に一部が載置される半径方向突出棚部 34a とを有している。取付部の壁 28a はまた、小出し開口 30a を包囲する凹状ポケット 52 を有している。頂部 50 は横方向に突出する 1 対の部分球状突出部 54 を有し、該部分球状突出部 54 は、取付部 48 のポケット 52 内の対応する部分球状ポケット 56 内に枢動可能に受け入れられる。かくして、頂部 50 は、部分球状突出部 54 および部分球状ポケット 56 の軸線を中心に、頂部 50 が取付部 48 の頂面と同一面内に位置する図 6 の閉位置と、製品を小出しするため、頂部 50 が小出し開口 30a から離れる方向に枢動された図 7 の完全開位置との間を自由に枢動できる。取付部ポケット内の壁面 57 は、頂部 50 の対向縁部 58 と協働して、頂部 50 の開き(図 7 で見て反時計回り方向への開き)を制限するストッパとして機能する。

20

【0010】

30

図 8～図 10 には、蓋 62 が取付部 64 と、これとは別体に形成されたディスク形頂部 66 とを有する小出しパッケージ 60 が示されている。容器 12b の b ネック 18b は、前の実施形態と同様に、半径方向内方に開口した周方向チャンネル 40b を有している。周方向チャンネル 40b からネック 18b の軸線方向縁部まで、直径方向に対向する 1 対の軸線方向チャンネル 68、70 が、ネック 18b の内面に沿って延びている。取付部 64 は半径方向外方に突出した周方向ビードすなわちリブ 38b を有し、これらのビードすなわちリブ 38b は、前述の実施形態と同様に、組付け時にチャンネル 40b 内に受け入れられる。取付部 64 はまた、ビード 38b から軸線方向に突出した、直径方向に対向する突出部 72、74 を有しており、これらの突出部 72、74 は、取付部 64 が容器 12b に組み付けられたときにネック 18b の軸線方向チャンネル 68、70 内に受け入れられる。これらの軸線方向突出部およびチャンネルは、取付部 64 を、ネック 18b に対して周方向に整合させる。チャンネル 40b の上方のネック 18b 内面には、直径方向に対向する 1 対の部分球状ポケット 76 が形成されており、これらのポケット 76 は、これに対応してディスク形頂部 66 に形成された直径方向に対向する 1 対の部分球状突出部 78 を受け入れる。このようにして、この実施形態では、ディスク形頂部 66 は、図 1～図 7 の実施形態のように取付部自体に枢着される構成とは異なり、取付部 64 の上方で容器のネック 18b に枢着される。取付部 64 は直径方向に対向する 1 対の凹形の軸線方向部分円肩部 80 を有し、該肩部 80 は、ディスク形頂部 66 の 1 対の凸形の部分円形支持棚部 82 を枢動可能に支持する。これらの軸受け構造は、ディスク形頂部 66 が図 9 の閉位置と図 10 の開位置との間で枢動するときに、ディスク形頂部 66 の支持を補助する。ディスク形頂部 66 が

40

50

図10の開位置に枢動されると、ディスク形頂部66の栓シール壁36bが取付部64の環状壁32bから抜かれる。これにより小出し開口36bの一部が形成され、容器内の流動製品がディスク形頂部66の側方開口84を通して小出しされる。ディスク形頂部66が図9の閉位置に戻されると、開口84がネック18bの縁部より下に位置し、かつディスク形頂部の壁36bが小出し開口30b内で栓シールを形成する。ディスク形頂部66は、閉位置において、ネック18bの上縁部とほぼ同一面内にある。

【0011】

以上、前述の本発明の目的を完全に達成できる小出しパッケージおよびその組立て方法を説明した。図面には標準完成高さの容器の例を示したが、本発明の1つの長所は、完成高さを大幅に低減でき、従ってパッケージの全高およびコストを低減できることである。また、幾つかの実施形態および変更例を開示したが、当業者ならば他の変更例を容易に想到できるであろう。本発明は、特許請求の範囲に記載された本発明の精神および広い範囲内に包含されるあらゆる変更を含むものである。

10

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の好ましい一実施形態による小出しパッケージを示す斜視図である。

【図2】容器の蓋が閉位置にあるところを示す図1のネック部分の部分拡大断面図である。

。

【図3】容器の蓋が開位置にあるところを示す図1のネック部分の部分拡大断面図である。

。

【図4】図1～図3に示した小出しパッケージを示す部分分解斜視図である。

20

【図5】本発明の変態様による小出しパッケージを示す部分分解斜視図である。

【図6】容器の蓋が閉位置にあるところを示す図5の小出しパッケージのネック部分の部分拡大断面図である。

【図7】容器の蓋が開位置にあるところを示す図5の小出しパッケージのネック部分の部分拡大断面図である。

【図8】本発明の他の変態様による小出しパッケージを示す部分分解斜視図である。

【図9】容器の蓋が閉位置にあるところを示す図8の小出しパッケージのネック部分の部分拡大断面図である。

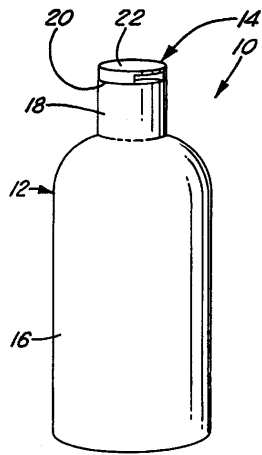
【図10】容器の蓋が開位置にあるところを示す図8の小出しパッケージのネック部分の部分拡大断面図である。

30

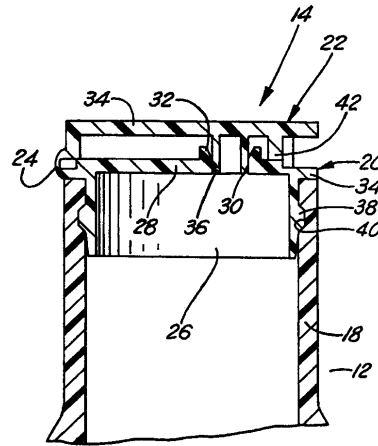
【符号の説明】

- 10 小出しパッケージ
- 14 蓋
- 20 取付部
- 22 頂部
- 24 ヒンジ
- 30 小出し開口
- 38 周方向ビード
- 40 チャネル

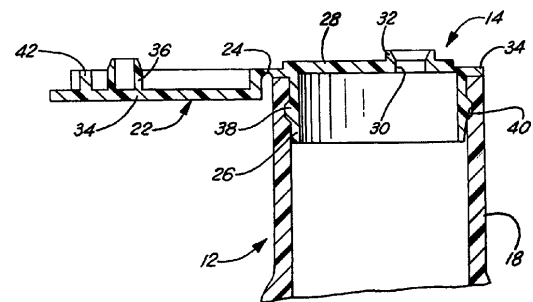
【 図 1 】



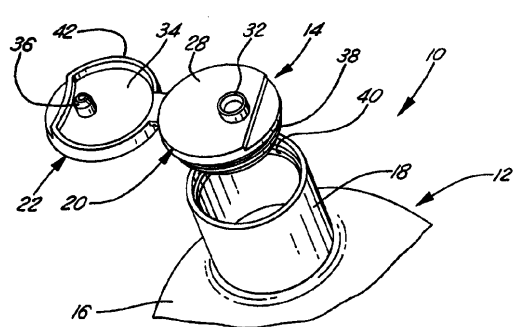
【 図 2 】



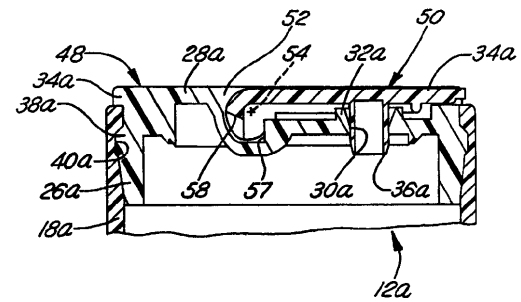
【 図 3 】



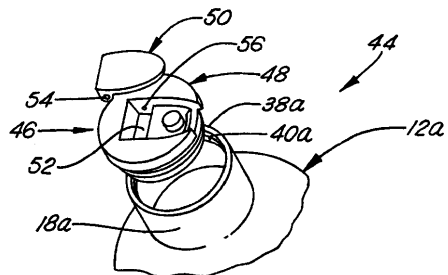
【 図 4 】



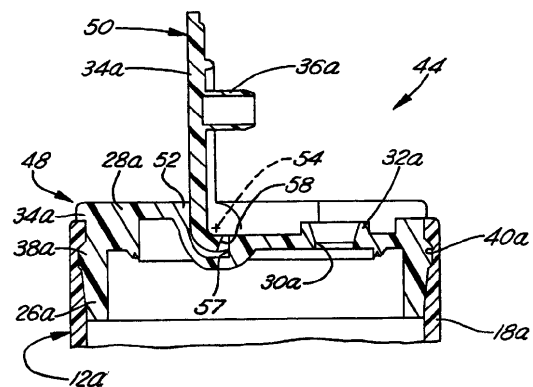
【图 6】



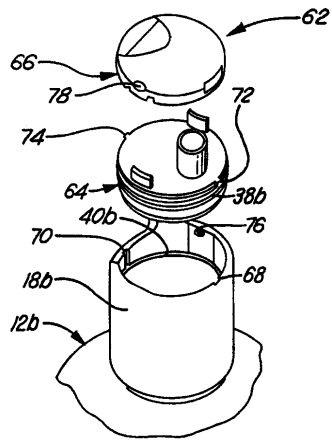
【図 5】



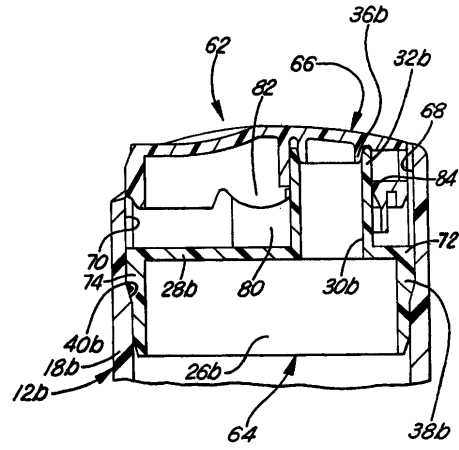
【 図 7 】



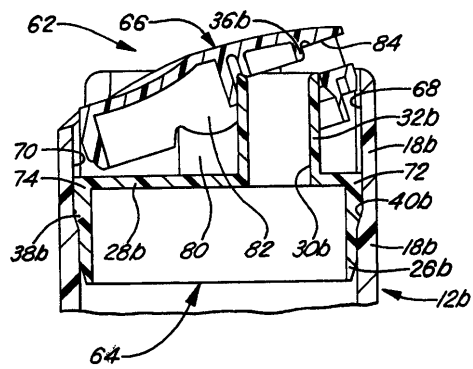
【図 8】



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

- (74)代理人 100074228
弁理士 今城 俊夫
- (74)代理人 100084009
弁理士 小川 信夫
- (74)代理人 100082821
弁理士 村社 厚夫
- (74)代理人 100086771
弁理士 西島 孝喜
- (74)代理人 100084663
弁理士 箱田 篤
- (72)発明者 クレイグ イー マックリーン
アメリカ合衆国 バージニア州 22801 ハーリソンバーグ チェスナット リッジ ドライ
ヴ 182シー
- (72)発明者 ロバート イー ハーマン
アメリカ合衆国 ケンタッキー州 41091 ユニオン キーンランド グリーنز ドライヴ
932

審査官 富江 耕太郎

- (56)参考文献 特開平10-86960 (JP, A)
特開昭58-160260 (JP, A)
実開平2-11056 (JP, U)
実開昭61-119949 (JP, U)
実開昭51-45040 (JP, U)
実開昭63-137749 (JP, U)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A45D 34/00、34/02
B65D 47/08